

御手洗

国立公園・町並み保存地区

江戸時代の町並みが多く残る町で、町全体が重要伝統的建造物群保存地区に指定(広島県内で2カ所)

- *江戸～明治にかけて西日本の物流の拠点になる。(北前船の中継貿易港)
- *江戸時代、西日本で商人の町・大阪の次に栄えた町。
- *米相場は大阪商人が買付けに来て御手洗から各地に発信し、御手洗で決まっていたので【御手洗相場】と云われていた。
- *京都の文化が残る町並み(京都に送る物資も御手洗から送っていたので京都の影響を受ける)。
- *国際貿易も手がけていた町。
- *参勤交代(江戸時代)の時、10の藩の殿様が宿泊する宿があった。(船宿:物資、資金、人の世話などをしていた)
- *住吉神社は大阪の豪商・鴻池が大阪にある住吉大社の2分の1を再現し、創建時に寄進する。

御手洗の自慢

- ***町並み保存地区** 町全体が保存地区に指定されている。
- ***千砂子波止** 江戸時代から現存する大防波堤(広島藩が1年がかりで造る)。
- ***新光時計店** 全国で最初に開業する(150年前アメリカから輸入した約2mの柱時計が有る)。昔ながらの修理が出来る人は全国でこの主人だけ。
- ***小学校** 全国で最初に開校したと云われている(明治6年1月)。
- ***遊郭** 江戸時代、御手洗には4軒の茶屋(遊郭)があり、最盛期には300人ほどの遊女を抱えていた。その中で日本最古の遊郭・若胡子屋は120人ほどの遊女を抱え西日本一の遊郭と云われていたが、事件が多く起きるので99人で止めていた(有名な事件:おはぐる事件)。京都でしか見られない【おいらん道中】を御手洗で見ることができたと云われていた。
- ***江戸時代** 中継貿易港として、埋め立てでできた町(満舟寺まで海だった)。明治12年に御手洗町となる。

御手洗の有名人

- ***中村春吉** 当時では珍しい自転車世界を1周(明治35年)を成し遂げ、後に世界で活躍する。
- ***星野文平** 御手洗出身の勤皇の志士、勝海舟と行動を共にする。
- ***栗田樗堂** 小林一茶が一番尊敬していた江戸時代の俳人。
→正岡子規も一番尊敬していた。御手洗の満舟寺に墓がある。

御手洗に立ち寄った有名人

- ***エンゲル・ヘルト・ケンペル(1691年)** ドイツ人。
- ***ツンベルグ(1776年)** スウェーデン人。
- ***伊能忠敬** 御手洗を測量した時日本に2枚しかない測量の絵図を残す。
- ***シーボルト(1826年)** 江戸で伊能忠敬の日本地図を外国に持ち出そうとして日本追放になり、長崎へ行く際、御手洗に寄港し診察記録を残す。
- ***吉田松陰(1853年)** 大原屋
- ***三条実美のほか公家4人** 都落ちの時=『七卿落ち、蛤御門の変』3日間御手洗に寄る。
- ***大久保利通(1862年)**
- ***坂本龍馬、西郷隆盛、桂小五郎、高杉晋作、中岡慎太郎、池田徳太郎**
→四藩同盟又は御手洗条約は御手洗で結ばれている。
- ***ショピング(明治元年)** フランス人。
- ***有栖川宮威仁親王(1885年)**
- ***村本七郎(神機隊)**
- ***頼山陽**
- ***陶晴賢、小原仲務丞、白井房胤、大祝安房、越智安成**
- ***神功皇后、菅原道真、平清盛、加藤清正、鶴姫(伝説)**
- ***川端瑞軒** 瀬戸内海沖乗り航路を開発する。